

山口県立萩美術館・浦上記念館 3月のコレクション展

【観覧料／一般:300円】
18歳以下・70歳以上、
メンバーズクラブ、
キャンパスメンバーズ、
法人サポーターズは無料

東洋陶磁・陶芸・工芸
「萩美百華」～4月13日(日)

東洋陶磁・陶芸
「茶陶 萩」～4月13日(日)

浮世絵
「美人画の四季」(第9期)～4月13日(日)



仲山美知子 《菊箱「ざくら」》2016年
当館蔵(仲山美知子氏寄贈) 撮影 山崎信一
「萩美百華」で展示



《萩富士園割高台茶碗》江戸時代後期
伝、六代林半六(泥平)作 当館蔵
「茶陶 萩」で展示



山本昇雲 《今姿 高砂や》
大判錦絵 明治39年(1906)
「美人画の四季」(第9期)で展示

山口県立萩美術館・浦上記念館 2025年度の特別展

池田蕉園と輝方 — 夢みる美人画

【会期】2025年4月19日(土)～6月1日(日)

池田(旧姓榊原)蕉園(1886～1917)と池田輝方(1883～1921)は、明治末から大正初期に、夢見るような甘美な女性を描いて一世を風靡した美人画家です。ともに文展で入賞を重ね、竹久夢二(1884～1934)に影響を与えるなど、近代美人画の形成に大きく寄与しました。特に蕉園は京都の上村松園(1875～1949)、大阪の島成園(1892～1970)と「三都三園」と並び称される存在でした。蕉園と輝方の代表作をあつめ、ふたりの画業を本格的に紹介する初の展覧会を開催します。



▲池田蕉園 「かえり路」4曲1隻 1915年 東京国立近代美術館所蔵

躍動するアジア陶磁

— 町田市立博物館所蔵の名品から —

【会期】2025年7月12日(土)～9月23日(火・祝)

町田市立博物館は日本屈指の東南アジア陶磁と優れた中国陶磁のコレクションを所蔵することで知られています。本展ではその中から135件を厳選して紹介します。東南アジアでは多くの王朝や民族が盛衰を繰り返し、主に中国の影響を受けながら特色ある陶磁器を生み出してきました。本展では時代によって異なる技法や彩色表現に注目し、地域ごとに躍動感あふれる造形をみせるアジア陶磁の魅力にせまります。



青花象形水注▶
ベトナム 黎朝
15～16世紀

ミュージアム 100周年 @Hagi

美術館と萩のまちなかで
もっと身近に
アートを体感!
2025
3/18(火)
3/30(日)

Hagi Urugami
Museum

アートを活用した地域づくりやワークショップを介した
交流促進を目的とした地域密着型アートイベントです。
春の美術館と萩のまちなかで文化・芸術体験してみよう!

【主催】

萩美まちなか交流実行委員会
(山口県／山口県立萩美術館・浦上記念館／指定管理者サントリー・ハプリシティサービスグループ／
萩市／萩市教育委員会／萩市文化協会／萩陶芸家協会／(公財)山口きらめき財団)

【お問い合わせ】

萩美まちなか交流実行委員会事務局 TEL:0838-24-2400
〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 山口県立萩美術館・浦上記念館

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1
開館時間／9:00～17:00(最終入場は16:30まで)
TEL:0838-24-2400 FAX:0838-24-2401
URL: <https://hum-web.jp/>



ミュージアムフェスタ

日時 3月23日(日) 9:00~16:00
※一部イベントは3月22日(土)から実施

会場 山口県立萩美術館・浦上記念館

1 映画 「百日紅 ~Miss HOKUSAI~」

上映時間
90分

葛飾北斎とその娘・お栄と、江戸に生きる人々との交流を描いた杉浦日向子の同名漫画をアニメーションにした作品です。

時間 1回目10:00~11:30 / 2回目13:30~15:00
(各回とも30分前から開場)

入場料 無料(要整理券)

定員 各回70席(当日整理券配付)整理券は一人2枚まで配付
整理券配付時間:1回目 9:00~/2回目 12:30~

場所 講座室



©2014-2015 杉浦日向子・MS・HS / 「百日紅」製作委員会

3 浮世絵ってなあに? 学芸員に聞いてみよう

予約優先

学芸員による浮世絵ができるまでの解説を聞き、浮世絵スタンプを体験します。

講師 瀧田恵子(萩美術館・浦上記念館学芸員)

時間 1回目 11:00~12:00 / 2回目 14:30~15:30

参加費 無料(要観覧券・要保護者同伴)

定員 各回20名(予約優先・空席がある場合のみ当日受付)

対象 小学校4年生から6年生

場所 本館2階展示室



4 島根県立美術館 北斎コレクション オリジナル ペーパーバッグをつくろう!

島根県立美術館所蔵の葛飾北斎の作品を絵柄にした紙製バッグをつくります。

時間 9:00~16:00

参加費 無料(小学3年生以下は要保護者同伴)

定員 無くなり次第終了、随時受付

場所 本館1階スロープ下



5 缶バッジ、 マグネットをつくろう!

自分だけの缶バッジやマグネットをつくります。

時間 9:00~16:00

参加費 無料

定員 無くなり次第終了、随時受付

場所 本館1階スロープ下



7 山口県立萩美術館・浦上記念館 展覧会コーナー

2025年4月19日(土)から開催の特別展「池田蕉園と輝方一夢みる美人画」をご紹介します。展覧会に関連したワークショップも開催します。

時間 9:00~16:00 **場所** エントランスロビー

8 山口県立美術館 展覧会コーナー

2025年4月24日(木)から開催の特別展「カナレットとヴェネツィアの輝き」をご紹介します。

時間 9:00~16:00 **場所** レファレンスコーナー



6 昔遊び めんこをつくろう!

萩美所蔵の浮世絵ややきもの作品を絵柄にしためんこをつくります。完成後はめんこをはじめ、けん玉、輪投げなどの懐かしい遊びを楽しむことができます。

時間 9:00~16:00

参加費 無料

定員 無くなり次第終了、随時受付

場所 本館エントランスロビー

GalleryTalk

【ギャラリー・トーク】
担当学芸員による展示作品解説
3月22日(土)

10:30~(30分程度)

トピック展示「東光寺の美術と黄檗文化」

11:00~(30分程度)

コレクション展「茶陶 萩」

予約申込

各イベントのご予約は
こちらから!



【予約開始】3月2日(日) 9:00~

※各イベントによって申込条件が異なります。詳しくは予約専用サービスをご確認ください。
※各イベントへのご参加はお一人様1回限りとさせていただきます。
※下記期間はお問い合わせに対応することができません。あらかじめご了承ください。
期間:3月7日(金)~3月10日(月)

3/18

~30

トピック展示

「東光寺の美術と 黄檗文化」

会期 3月18日(火)~30日(日) 3月24日(月)休館
9:00~17:00(入館は16:30まで)

会場 山口県立萩美術館・浦上記念館 陶芸館1階 多目的室

観覧料 大人300円、学生200円

※70歳以上と18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料です。
※陶芸館1-2階のコレクション展示室もご覧いただけます。
※身体障害者手帳等をご提示の方と、その介護者(1名)は無料です。

【ギャラリートーク】3月22日(土) 10:30~(30分程度)

萩藩3代藩主
毛利吉就の帰依をうけて
東光寺を開いた名僧



慧極道明像 東光寺蔵

3/30

3 黄檗売茶流 お茶会

京都・宇治にある黄檗山萬福寺の茶礼から発展した煎茶道「黄檗売茶流」のお手前を解説付きで披露します。美味しい「玉露」をお楽しみください。

日時 3月30日(日) 1回目 10:00 / 2回目 11:00
3回目 12:45 / 4回目 15:10

会場 山口県立萩美術館・浦上記念館 交流スペース

定員 各回15名(先着順) **参加料** 200円(要観覧券)

席主 黄檗売茶流 師範 吉岡柏仙氏

【協力】一般社団法人 煎茶道 黄檗売茶流

3/30

特別講演会

「黄檗美術と 萩・東光寺」

日時 3月30日(日) 13:30~14:30(開場13:00)

会場 山口県立萩美術館・浦上記念館 講座室

講師 錦織亮介氏(北九州市立大学名誉教授)
九州大学文学部卒業、長崎県美術博物館勤務後、北九州市立大学教授を経て、2018年3月まで福岡市美術館館長。主著に「黄檗禅林の絵画」。

参加料 無料

「HAGIBI×東光寺」

日時 3月18日(火)~30日(日)

萩毛利家の菩提寺である東光寺。このたびは萩の観光名所としても知られる、この黄檗宗の名刹を美術館ならではの視点で紹介します。

3/29

2 学芸員と巡る 東光寺

日時 3月29日(土) 12:30~16:30

【スケジュール】

※変更になる可能性があることをご了承ください。

12:30 美術館に集合、東光寺へ移動

13:00 心も体もスッキリ! 座禅体験
[指導・法話]
護国山東光寺 住職 尾田哲彦氏

14:00 学芸員、観光ガイドとお寺巡り

15:30 東光寺出発、美術館へ移動

16:00 多目的室のトピック展示鑑賞
~解散

参加料 1,000円(お一人)

山口県立萩美術館・浦上記念館観覧料、東光寺拝観料、御朱印料、保険料、バス代など含む
※県立美術館メンバーズ会員も同額です。参加者には住職直筆の御朱印を授与

定員 15名(事前申込・先着順)

【協力】萩市観光協会

東光寺と黄檗宗

護国山東光寺(萩市椿東)

萩藩3代藩主毛利吉就が、萩出身の慧極道明を開山として元禄4年(1691)に建立した黄檗宗寺院です。境内には大雄宝殿を中心とする壮大な建築が建ち並び、境内の後方には歴代藩主の墓「萩藩主毛利家墓所」と、藩士が寄進した約五百基の石灯籠が立ち並んでいます。仙台市の大年寺、鳥取市の興禅寺と並ぶ「黄檗三叢林」のひとつに数えられています。



東光寺大雄宝殿

黄檗宗と黄檗文化

黄檗宗は承応3年(1654)に長崎に来日した中国僧隠元隆琦によって伝えられた臨済宗の一派で、京都宇治の大本山萬福寺を本山としています。隠元は仏教とともに、中国式の建築や衣服、仏像、仏具、書画などを伝え、当時の日本文化に大きな影響を及ぼしました。煎茶や普茶料理といった食文化やインゲン豆や寒天といった食材なども、隠元がもたらしたとされています。